

行 平 省 ○ 財 務 省 告 示 第 二 百 四 号
平 成 二 十 四 年 五 月 十 五 日 に 発 行 し た 利 付 国 債 の 発 行 等 に 関 す る 省 令 (昭 和 五 十 七 年 大 藏 通 二 百 四 号) 第 五 条 第 十 一 項 の 規 定 に 基 づ き 、

省 令 第 三 十 号 ノ 第 二 百 四 号 第 五 条 第 五 百 五 十 九 条 三 百 十 五 号
の 法 号 名 称 及 び 根 拠 記

四 三 二 一
用 振 替 法 の 適 用 方 法

競とて価のし定あ争争う札価振の以律社第年別十財六利付
争す得格決、めつ入入。へ格替適下(平成十三年法律第七十五条)、項及第年に昭和二十一年六月七日より告示する。
入るらを定価らて札札に以を機用を振替法による競争は受け
札もれ募を格られ、と発下「振替法」等の法律に第百六十
発のる入受競た価額け争格時「発価付本銀もしくは銀行の
行に価額け争格にと競争を行ふと、並に第百三十号に第
行に価額け争格にと競争を行ふと、並に第百三十号に第
「よ格にた入利競にと競争を行ふと、並に第百三十号に第
どるをよ各札争行い(以下「札」といふ)。第百三十号に第
い發そり申に入わう以争て行ふと、並に第百三十号に第
う行の加込お札れ。下入行とと。第百三十号に第百三十号
。(発重みいのにる、「札わすし。」)。第百三十号に第百三十号
、以行平のて利お入価値「れる、の下価均応募率い札格格と
価格非格し募入とてで競競い入の定。

六

イ
發

価入価・別債行争非者特国札非
格行札格第参市及入価・別債発競
競發競Ⅱ加場び札格第参市行争
争額行争非者特国發競I加場入

五

ハロイ
方募

入価法入
札格決
發競定
行争の

額面金額で二兆四千九百五十九

込募各割各当も各
み限國り申ての申
の度債當込るか込
応額市てみ。らみ
募の場るのその
額範特。応のう
を囲別募応ち
割内參額募応
りに加を額募
当お者案を価
ていご分順格
るてとに次の
。各のより割高
申応りりい

争市る参てしひ価一を場で競
入場も加、た価格國定特あ争
札特の者財後格競債め別つ入
發別にご務に競争市る参て札
行参よと大行争入場も加、と
一加るに臣わ入札特の者財同
と者發応がれ札發別にご務時
い・行募各る募一加るに臣行
う第へ限國入と者發応がわ
。Ⅱ以度債札のい・行募各れ
非下額市で決う第へ限國る
価一を場で決。第へ限國る
格國定特あ定。I以度債入
競債め別つを及非下額市札

七

口イ
払

| | | | |
|------|--------------|-------|---|
| 非入価込 | 行争非者特國行争非者特國 | 札非 | 入 |
| 競札格金 | 入価・別債入価・別債 | 発競 | 札 |
| 争發競金 | 札格第參市札格第參市 | 行争 | 發 |
| 入行争額 | 發競Ⅱ加場 | 發競Ⅰ加場 | 行 |

| | | | |
|-----|------|---------|----------------------|
| 二七二 | でた条特 | でた条特 | 四つ定円千に規関五つ定う億 |
| 十兆 | 二利第別 | 二利第別 | 二利第別百いに、八つ定す億いにち円 |
| 二二四 | 千付一會 | 千付一會 | 千付一會十付一會万て基同百いにる七て基、 |
| 億万千 | 百国項計 | 七国項計 | 七国項計二国項計円はづ法八て基法百はづ財 |
| 七五九 | 十債のに | 億債のに | 億債のに億債のに、き第十はづ律五、き政 |
| 千千百 | 八に規關 | 円に規關 | 円に規關七に規關 |
| 八円五 | 億つ定す | つ定す千つ定す | 額発六三、き第十額發法 |
| 百十 | 円いにる | いにる九いにる | 面行十億額發四万面行第 |
| 五三 | て基法 | て基法百 | 金し二七面行十円金し四 |
| 十億 | 、づ律 | て基法 | 額た條千金し六、額た條 |
| 四九 | 額き第 | 、づ律万、づ律 | で利第八額た條特で利第 |
| 万千 | 面發四 | 額き第円額き第 | 七付一百で利第別三付一 |
| 四九 | 金行十 | 面發四 | 百国項五二付一會百国項 |
| 千百 | 額し六 | 金行十 | 億債の十兆国項計七債の |
| | | 額し六 | 千に規万三債のに十に規 |

| 口 | イ | 一 | 發 | 振額最 | 二 | ハ |
|--|--|--|---|--|---|---|
| 債行争非者特国札非 市及入価・別債発競 場び札格第参市行争 特国発競I加場、入 | 入価發 札格行行 発競価 行争格日 | 替 額 面 位 金 | 低行争非者特国行争非者特国札 入価・別債入価・別債発 札格第参市札格第参市行 発競II加場発競I加場 | | | |
| 十額募十額 八面価七面 錢金格錢金 額五額 百厘百 円以円 に上に つのつ きそき 九れ九 十ぞ十 九れ九 円の円 九応九 | 平す額の振 成るの記替 。整載法 十數又の 四倍は規 年の記定 五金錄に 月額はよ に、る 五よ最振 日る低替 も額口 の面座 と金簿 | 五 万 円 十 百 十七 億 五 千九 百八 百 六 十四 万 | 円二 千 百 六 億 五 千九 百八 十 六 万 円 | 二二 千百 六円 億 五千 九 百八 十 六 万 円 | | |

十
九
十
八
十
七
十
六
五

十
四

十
三
十
二

払者入払元償償
込札場利還還
期參所金金期
日加支額限
子以

初利入価・別
期札格第參
利發競Ⅱ加
子率行爭非者

平財日額平るい日毎
成務本面成利てを年
二十大銀金二子、支五
大臣行額十をそ払月
から百六支の期十
四年円年払日と五
五月に五う以し日
通知つ月。前、及
月十五知つ月。前、及
日十五をき十
日五受け百五
た日円日間
者たに月
すお五

規下は払し払平年
額面金額 $\times \frac{0.1}{100} \times \frac{1}{2}$ 定、、期た期成○
する号の銀額し十一
期及翌行を、四パ
日び営休支次年一
に第業業払の十セ
つ十日日う算一
い五にに。式月ト
て号支当たに十
同に払ただよ五
じおうるしり日
。いへと、算を
。て以き支出支